



東京三協信用金庫
第102期 業務報告書
Mini Report 2026

令和7年4月1日～令和8年3月31日

皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

大正14年10月に設立した当金庫は、令和7年10月12日に創立100周年を迎えました。ひとえに地域の皆さまのご支援、お力添えの賜物であり、今後も地域社会の発展に尽力してまいります。

以下に、令和7年度の事業の概況をご報告させていただきますので、ぜひともご高覧いただき、一層のご理解を賜りますように、お願い申し上げます。

さて、令和7年度は、米国の関税政策や国際情勢の緊張、資源価格の高騰が世界経済に大きな影響を及ぼしました。国内に目を向けると、秋に発足した高市新政権による財政出動や戦略投資への期待から、日経平均株価が最高値を更新するなど、本格的な日本経済の回復が期待される一方、個人消費では、長期的なインフレ等による食料品価格の高騰や実質賃金の伸び悩みにより、力強さに欠け、中小零細企業では、慢性的な人手不足、原材料価格の高騰及び価格転嫁の問題など数多くの課題に直面するなど、地域経済は、回復には至っておらず、厳しい景況感が続いております。

経済・社会の変化とともに多様化する世界のなかで、信用金庫の原点である顔の見える活動に努め、お客様に寄り添い、多様なニーズに応じていくことこそが、地域金融機関の使命と考え、その使命を果たしていく所存です。

当金庫は、創立100周年という節目を超え、新たな歴史を迎えています。これからも100年200年先の未来へ、お客様と共に歩んでまいりますので、変わらぬご支援とご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

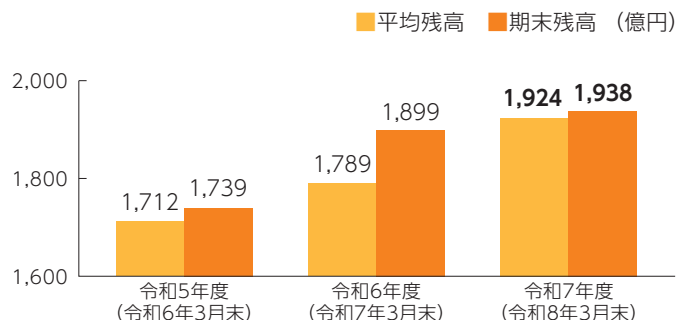


令和8年6月 東京三協信用金庫 理事長 中島 久喜

令和7年度 事業の概況

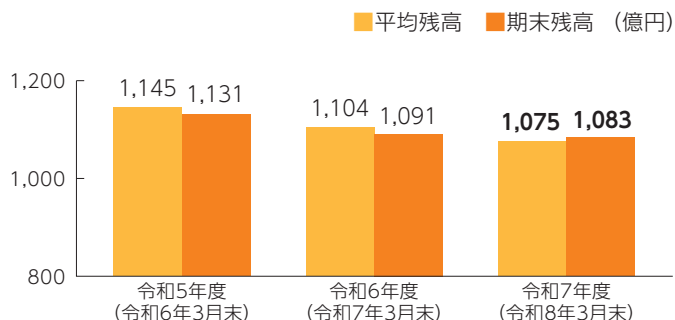
●預金積金の推移

令和7年度に取り扱いました、「創立100周年記念定期預金 アニバーサリー」「出資会員限定金利優遇定期預金 メンバーズ」等の預金商品を多くのお客様にご契約いただいたことや、事業資金のお預け入れがあり、期末残高は前期末より38億円増加し、1,938億円となりました。



●貸出金の推移

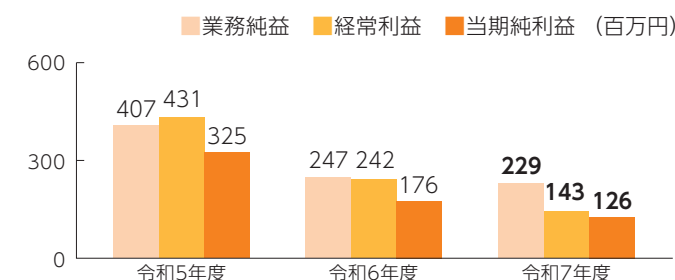
「課題解決」や「事業性評価融資」の実践等により、様々な資金需要に対応いたしました。不動産価格の上昇に伴う不動産売却による大口融資の返済等の影響により、期末残高は、前期末より8億円減少し、1,083億円となりました。



●損益の推移

貸出金利息を中心とした資金運用収益の増加により、本業での収益である業務収益は463百万円の増収となりましたが、経費の増加や、金利上昇を見据えた有価証券ポートフォリオのメンテナンスを実施したことで、業務費用が増加し、業務純益は、前期より17百万円の減益となる229百万円となりました。

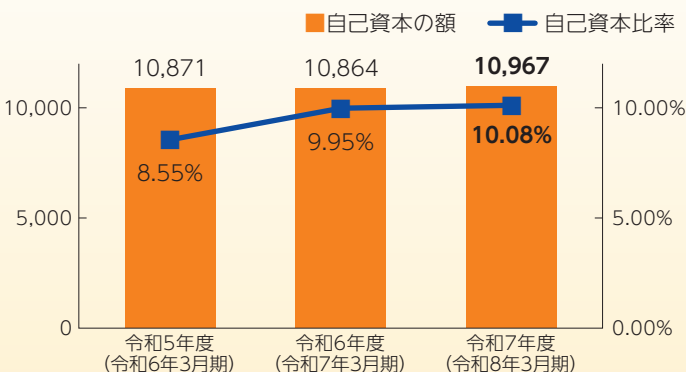
また、お取引先の業況悪化に伴う貸出金の償却を行ったこと等により、経常利益143百万円(前期比98百万円減少)、当期純利益126百万円(前期比50百万円減少)となりました。



●自己資本比率の推移

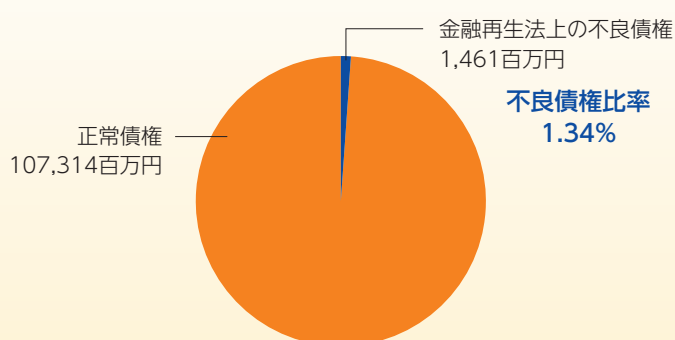
令和8年3月期の自己資本比率は、利益の積み上げによる自己資本額の増加等により、前期末から0.13pt上昇し10.08%となりました。

国内基準である4%の2倍以上を確保しており、当金庫の健全性は十分に保たれています。



●不良債権の状況

金融再生法の開示債権(いわゆる不良債権)に対し、担保や保証等による回収見込額及び貸倒引当金により83.79%が保全されています。また、保全されていない債権についても、特別積立金等により十分にカバーされています。



財務諸表

●第102期 貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

科目	金額(百万円)	科目	金額(百万円)
(資産の部)		(負債の部)	
現金	2,856	預金積金	193,806
預け金	65,362	当座預金	1,823
買入金銭債権	272	普通預金	102,131
有価証券	21,893	貯蓄預金	91
国債	2,239	通知預金	253
地方債	5,740	定期預金	79,348
社債	11,254	定期積金	9,560
株式	1,149	その他の預金	596
その他の証券	1,510	借入金	1,486
貸出金	108,310	借入金	1,486
割引手形	2	その他負債	632
手形貸付	1,091	未決済為替借	75
証書貸付	106,078	未払費用	147
当座貸越	1,138	給付補填備金	6
その他資産	1,488	未払法人税等	42
未決済為替貸	69	前受収益	59
信金中金出資金	954	払戻未済金	15
前払費用	9	払戻未済持分	0
未収収益	296	職員預り金	96
その他の資産	158	資産除去債務	37
有形固定資産	9,536	その他の負債	151
建物	3,310	賞与引当金	57
土地	5,888	退職給付引当金	456
建設仮勘定	5	役員退職慰労引当金	141
その他の有形固定資産	332	睡眠預金払戻損失引当金	2
無形固定資産	88	偶発損失引当金	3
ソフトウェア	80	再評価に係る繰延税金負債	1,159
その他の無形固定資産	8	債務保証	390
繰延税金資産	542	負債の部合計	198,137
債務保証見返	390	(純資産の部)	
貸倒引当金	△199	出資金	955
(うち個別貸倒引当金)	(△33)	普通出資金	955
		利益剰余金	9,953
		利益準備金	948
		その他利益剰余金	9,005
		特別積立金	5,390
		(NFS積立金)	(250)
		(事務機械化積立金)	(20)
		(職員教育積立金)	(20)
		(経営安定化積立金)	(2,000)
		(店舗建築積立金)	(300)
		当期末処分剰余金	3,615
		処分未済持分	△0
		会員勘定合計	10,908
		その他有価証券評価差額金	△792
		土地再評価差額金	2,287
		評価・換算差額等合計	1,495
		純資産の部合計	12,404
資産の部合計	210,541	負債及び純資産の部合計	210,541

●第102期 損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科目	金額(千円)	科目	金額(千円)
経常収益	3,496,910	その他業務費用	299,583
資金運用収益	3,192,428	国債等債券売却損	297,871
貸出金利息	2,520,676	国債等債券償還損	107
預け金利息	420,490	その他の業務費用	1,604
有価証券利息配当金	191,841	経費	2,514,839
その他の受入利息	59,419	人件費	1,431,638
役務取引等収益	247,175	物件費	894,380
受入為替手数料	70,710	税金	188,820
その他の役務収益	176,465	その他経常費用	88,436
その他業務収益	17,843	貸倒引当金繰入額	7,234
国債等債券償還益	657	貸出金償却	64,775
その他の業務収益	17,185	株式等売却損	6,613
その他経常収益	39,462	その他の経常費用	9,812
償却債権取立益	26,190	経常利益	143,391
株式等売却益	857	特別利益	33,334
その他の経常収益	12,413	固定資産処分益	33,334
経常費用	3,353,518	特別損失	180
資金調達費用	375,642	固定資産処分損	0
預金利息	360,173	その他の特別損失	180
給付補填備金繰入額	5,090	税引前当期純利益	176,546
借入金利息	9,713	法人税、住民税及び事業税	49,758
その他の支払利息	665	法人税等調整額	778
役務取引等費用	75,015	法人税等合計	50,536
支払為替手数料	16,731	当期純利益	126,009
その他の役務費用	58,284	繰越金(当期首残高)	3,489,003
		当期末処分剰余金	3,615,013

●第102期 剰余金処分計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科目	金額(円)
当期末処分剰余金	3,615,013,417
法定準備金限度超過取崩額	—
計	3,615,013,417
剰余金処分額	25,367,965
利益準備金	6,552,500
普通出資に対する配当金	(年 2.0%) 18,815,465
繰越金(当期末残高)	3,589,645,452

以上のとおりであります。

令和8年6月

東京三協信用金庫

理事長 中島 久喜 常勤理事 平川 昌幸
専務理事 遠藤 豊幸 常勤理事 矢島 一郎
常務理事 雨宮 正信 常勤理事 河島 正日

上記各事項を監査の結果、正確であると認めます。
令和8年6月

常勤監事 高橋 勝 監 事 古谷 修
員外監事 鈴木 信二

東京三協信用金庫は、令和7年10月12日に創立100周年を迎えました

関東大震災から2年後の大正14年(1925年)10月12日、現在の東京都新宿区域にあたる東京府豊多摩郡戸塚町に「有限責任 戸塚町信用組合」を設立し、当金庫の歴史が始まりました。その後、昭和24年1月に、戸塚町信用組合・東京建築信用購買利用組合・共隆信用購買利用組合が合併し「東京三協信用組合」を設立、昭和26年10月の信用金庫法施行に伴い「東京三協信用金庫」に改組しました。

設立以来、社会情勢、金融情勢には様々な変化がありましたが、創立100周年を迎えることができましたのも、ひとえに、地域の皆さまからのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

令和7年

4月17日	団体献血	10月6日～10日、12日	染の王国 新宿「振袖展示会」、型染め体験会
5月14日～16日	記念旅行「北海道旅行2泊3日の旅」(第1班)	10月12日	金庫創立100周年
5月21日～23日	記念旅行「北海道旅行2泊3日の旅」(第2班)	10月14日～17日	お客様感謝デー
6月 1日	記念ポスター掲示開始	10月14日	女性職員制服リニューアル
7月15日	記念定期預金「つなぐ未来～創立100周年に向けて～」抽選会	10月17日	金庫創立100周年記念式典
7月18日	金庫創立100周年記念定期預金「アニバーサリー」取扱開始	11月12日	新宿区社会福祉協議会へ寄付
9月27日	物故者慰霊祭	11月14日	日本赤十字社東京都支部へ寄付
		12月 2日	さんきょう100周年記念チャリティゴルフ大会
		12月 8日	日本点字図書館へ寄付
		12月27日	ファミリー企画「夜のサンシャイン水族館探検ツアー」(1回目)

令和8年

2月28日 ファミリー企画「夜のサンシャイン水族館探検ツアー」(2回目)



記念旅行



振袖展示会



記念式典



夜のサンシャイン水族館探検ツアー

総代会事項

第102期通常総代会

令和8年6月19日に開催した第102期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認・決議されました。

【報告事項】

- ・ 監事による監査報告
- ・ 第102期(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

【決議事項】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 第1号議案 第102期剰余金処分案承認の件 | 第3号議案 総代候補者選考委員の選任の件 |
| 第2号議案 会員除名の件 | 第4号議案 理事の任期満了に伴う選任の件 |
| (1) 定款第15条1項(別表2の1項)に関する除名 | 第5号議案 監事の任期満了に伴う選任の件 |
| (2) 定款第15条1項(別表2の5項)に関する除名 | 第6号議案 退任監事に対する退職慰労金贈呈の件 |

【その他】

出資金に対する配当率は、年2%に決定されました。



お客様支援・地域支援の取り組み

社会福祉協議会へ寄付

令和6年度に取り扱いしました、「さんきょう拡充倶楽部定期預金」のご契約総額の0.05%を、当金庫の営業店が所在する、新宿区、杉並区、中野区、豊島区、西東京市、調布市、府中市の各社会福祉協議会へ、当金庫より寄付させていただきました。

金融教育・職場体験

営業店にて、地元中学生の職業体験に協力し、社会人としてのマナーや信用金庫の業務等についての研修、通帳の作成体験等を行いました。

また、立教大学および東京富士大学にて、当金庫職員が講師となり、信用金庫や金融についての講座を行いました。今後も、地域の金融教育への取り組みを継続していきます。



創業スクール

産業競争力強化法に基づく、新宿区認定の特定創業支援等事業として、創業スクールを開催しました。

ビジネスクラブさんきょう(BCS)

昭和63年に発足したビジネスクラブさんきょうは、法人代表者および個人事業主の皆さまを中心に組織され、会を通じて、会員相互の事業の発展、ビジネスマッチング、見識とネットワークを広げるための活動を実施しています。

令和7年度は、総会・勉強会、企業合同忘年会、新春講演会・賀詞交換会を開催しました。



勉強会



賀詞交換会

東京チームサポート アシスト会議

返済が困難となっているゼロゼロ融資先等について、信用金庫と東京都よろず支援拠点、事業承継・引継支援センター、東京都中小企業活性化協議会、東京信用保証協会が連携して、サポートプランを検討し、連携支援を実行することで、事業者の収益力改善と事業継続力強化を目指す、東京チームサポートアシスト会議を開催しました。